

施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
企画財政部危機管理担当	栢本 昌展	63-7271 (危機管理室)

施策体系	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	3	防犯

1. 施策の基本方針 Plan

- ・ 地域ぐるみで健全な生活環境の形成や防犯活動に取り組みます。
- ・ 家庭、学校、地域間の連携を強化して、青少年の非行防止に取り組みます。
- ・ 消費生活に関する啓発や相談体制の充実、消費者団体の支援に取り組みます。

2. 目標

重点目標 Plan

- ・ 犯罪を未然に防止する環境づくりを促進します。
- ・ 青少年の非行防止を図るため、青少年補導センターを拠点として名張市青少年育成推進員、名張市青少年育成市民会議等のボランティアと連携し、通年で街頭啓発パトロール、有害環境浄化活動等を実施します。
- ・ 振り込め詐欺、消費者トラブル等の防止を図るため、関係機関との連携の下、市民への注意喚起に努めます。

目標達成に向けた課題 Plan

- ・ 住民間のつながりが希薄化したことで、犯罪が発生しやすくなったり、発生した犯罪の覚知が遅延する傾向にあります。
- ・ 車上荒し、自転車盗など市民の身近な所で発生する犯罪が増加傾向にあります。
- ・ 青少年の非行防止については、小さな芽を摘み取り拡大を防ぐ必要がありますので、平常時であっても的確な情報を収集できる市民ネットワークが必要です。
- ・ 振り込め詐欺等は、融資や還付金など被害者の金銭欲に訴えるものが増加するとともに、金銭の受け渡し方法も振り込みに限らず、郵送や手渡しなど多様な形態をとるものが発生しており、高齢者を中心に被害が発生しています。
- ・ 消費生活に関わる相談が増加傾向にあり、その内容もデジタルコンテンツ関係等多様化かつ巧妙化しています。

< 行政評価委員会からの意見 >
意見なし

施策指標 (目標) 及び達成状況 Plan Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
犯罪に対して不安感を持っている市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	53.0	49.0	
	成果	56.9	52.9	49.1	52.4	48.4		100%
刑法犯認知件数 (件)	目標	-	-	-	-	797	726	
	成果	899	765	855	727	759		81%
初発型非行数 (件)	目標	-	-	-	-	70	60	
	成果	77	55	22	20	22		100%
市広報への消費生活に関する啓発情報の掲載【延べ値】 (回)	目標	-	-	-	-	29	47	
	成果	5	10	16	23	32		64%

3. 取組内容

課題解決への取組内容 **Do**

・関係機関が連携し、名張市からあらゆる暴力を排除するため、暴力追放なばり市民会議を設立しました。
 ・コミュニティFMを活用し、防犯啓発放送を毎月1回実施しました。
 ・振り込め詐欺・不審者情報など迅速な情報提供が、犯罪の未然防止に繋がるような事象について、防災ほっとメールにより注意喚起を図りました。
 ・名張市生活安全推進協議会防犯部会により、花火大会や蛭子祭りにおける特別警戒、スーパーマーケット等多くの人が出入りする箇所での街頭啓発を実施しました。
 ・教育委員会と青少年育成市民会議を核とした「名張少年サポートふれあい隊」により、市民主体の活動を展開しました。
 ・平成23年度より総合窓口センターに消費生活専門相談員を1名配置し、市民から寄せられる消費生活相談に対応するとともに、ホームページ、市広報及び出前トーク等により啓発活動を行っています。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>
 意見なし

地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

・ひなち地域ゆめづくり委員会に青色防犯パトロール隊としての活動を委嘱しました。
 ・名張市生活安全推進協議会防犯部会員を地域づくり組織から選出いただくことで、市と地域の連携を図るとともに、地域間の情報交換を促進しました。
 ・青少年健全育成研修会の実施に当っては、各地域に参加を呼びかけ、関係者の参加を得ました。また、青少年育成推進員の委嘱に当たっては、地域に推薦をお願いしています。
 ・例年5月の消費者月間に名張市消費生活協議会との協働により、大型店舗において街頭啓発を実施しています。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 2 事業) **Do** **Check**

事務事業 シート 番号	事業名・担当室名 (事業名の 印は、市長の重点施策事業を示しています)		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
					事務事業の 施策への 貢献	地域づくり組 織等との 連携・協 働	事務事業シ ートでの 今後の 方向	施策達成 への 貢献度	施策達成 への 重要度
1009	地域防犯活動事業	危機管理室	2,216	2,216	B	実践している	継続(改善)	B	B
6119	青少年補導センター事業	文化生涯学習室	588	532	B	実践している	継続(現行)	B	B
合計(単位：千円)			2,804	2,748					
小計(うち、一般会計分)			2,804	2,748					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価 **Check**

評価
 計画どおり事業推進
 成果・評価理由
 ・防災ほっとメール(平成25年7月1日現在登録数：約4,200件)を活用し、振り込め詐欺・不審者情報などをタイムリーに配信することで、犯罪の未然防止、被害の拡大防止に資することができました。
 ・平成11年を最後に活動を休止していた暴力追放名張市民会議を設立し、暴力追放の気運を高めることができました。
 ・県レベルで開催される犯罪防止・暴力追放に関する会議に出席し、各地の取り組み状況等情報収集を図りました。
 ・名張少年サポートふれあい活動により、市民の主体性が高まっています。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

・組織構成、活動内容において重複する部分の多い名張地区防犯協会と名張市生活安全推進協議会防犯部会との連携、調整により、効果的な活動を展開します。
 ・花火大会、蛭子祭り等の大祭においては、多くの団体により特別警戒が実施されており、他の団体との連携により、効果的な特別警戒につなげます。
 ・市外で積極的に展開されている防犯・暴力追放活動を紹介するとともに、研修の場を設けるなど自主防犯・暴力追放活動の気運を高めます。
 ・名張少年サポートふれあい隊活動を通じて、参加者の資質を高め、地域や各種団体の活動に還元します。
 ・相談件数の増加に伴う消費生活専門相談員等の増員及び多様化する事案に対応すべく相談員等のレベルアップを図っていきます。

7. 総合評価

評価
 B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
 評価理由及びその他(意見)